

教科名	情報	科目	社会と情報	単位	2単位
-----	----	----	-------	----	-----

1. 教科書および副教材・参考書

高校社会と情報（実教出版）

2. 授業の目標および内容

情報を単に情報リテラシーとしてそのスキルを追求するのではなく、学問としてとらえ、情報の自主的な活用力を高めることに主眼を置いて学習してゆきます。

情報及び情報技術を活用するための知識と技能の習得を通して、情報化の進展に主体的に対応できる能力と態度を育成します。

3. 試験について

	1学期		2学期		3学期
定期試験	1次 なし	2次 7月	1次 なし	2次 12月	期末 3月
学力試験	第1回 なし		第2回 なし		第3回 なし

内容・難易度について

- ① 定期試験：教科書、プリント、実習の内容を組み合わせ出題します。
- ② 学力試験：なし

4. 課題・補習について

コンピュータールーム2を放課後開放し、実習課題の続きを行います。

5. 評価の視点

二次試験と実習の成果を評価します。ウェイトとして実習を中心に評価していきます。二次試験は50%以下の比率であると理解してください。実習課題の提出、プレゼンテーション、取組みの姿勢などを中心に評価をします。1学期は個人による作品提出、2, 3学期は個人・グループによる作品提出とプレゼンテーションになります。

授業計画

学期	単 元	学 習 内 容	備 考
1	オリエンテーション 情報の収集発信と情報機器の活用	教科「情報」の概要 年間の予定について、コンピュータのマナーについて利用する機器の名称と役割、利用方法 ・情報の収集・発信における問題点 情報の収集・発信の際に起こり得る具体的な問題点の把握、問題点の解決や回避する方法の理解、情報社会で必要とさ	タイピングテスト アンケート 情報の収集・整理・発信 数値データの可視化と分析

	情報機器の発達と生活の変化	れる心構え ・情報化社会における情報セキュリティの構築 ・情報化の進展が生活に及ぼす影響	情報化社会の光と影について考察
2	情報の統合的な処理とコンピュータの活用 情報機器の発達と生活の変化	・問題解決の工夫 ・問題解決の実践 問題の発見と整理 解決の計画と実施 ・コンピュータによる情報の統合 周辺機器やソフトウェアとを組み合わせた活用、多様な形態の情報の統合化の理解 ・情報社会への参加と情報技術の活用 コンピュータや情報通信ネットワークなどを使いこなす能力の重要性将来にわたって情報技術の活用能力を高めることの必要性	問題の発見と整理 解決の計画と実施 問題解決の工夫で展開した内容について伝達の工夫をする実習 架空の家族を設定し、その家族に合った家を設計 文字、数値、音声、画像等の情報のコンピュータへの取り込みと表示
3	情報の統合的な処理とコンピュータの活用 情報を活用するための工夫と情報機器 情報機器の発達と生活の変化	・情報の統合的な処理 収集した多様な形態の情報を統合的に処理する方法の習得 ・情報伝達の工夫 伝達内容に適した提示方法の工夫 情報機器の適切な活用 情報機器を使う場合と使わない場合の比較 ・情報の発信と共有に適した情報の表し方 情報の共有やデータの加工や再利用のための工夫	情報機器を利用した情報収集活動の実施 修学旅行の下調べを兼ねたプレゼンテーション実習 情報機器の仕組み、特性の理解 プライバシー、著作権、ネットワークの安全性 タイピングテスト